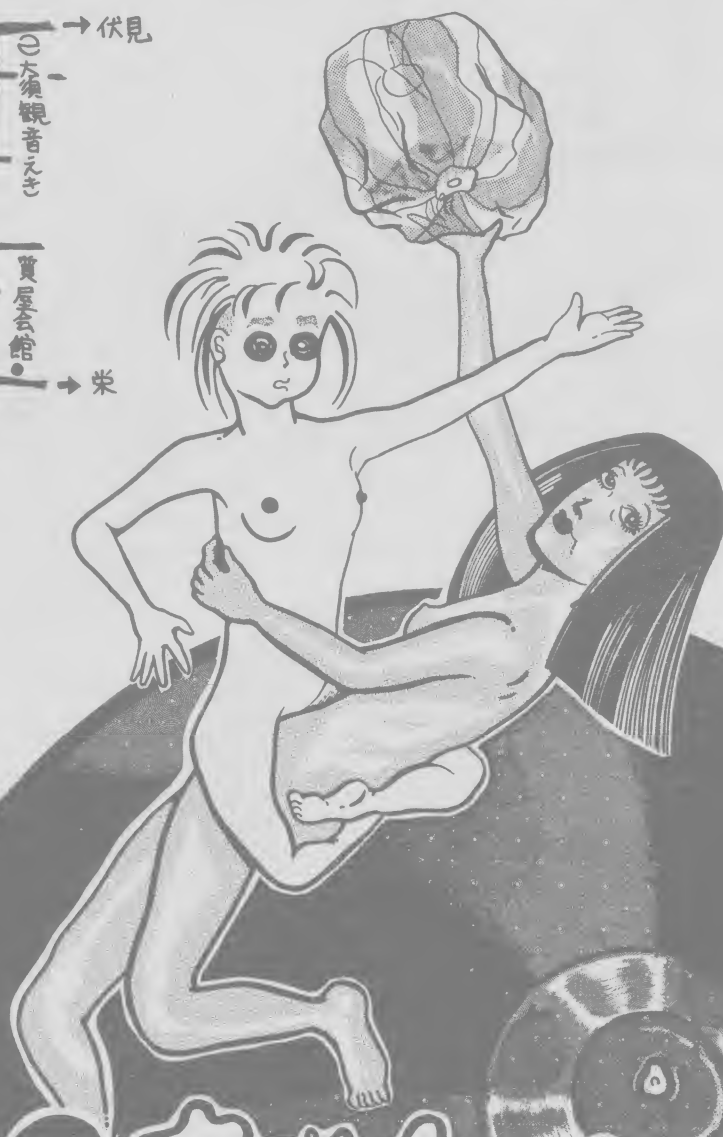




大須へゆこまい  
——  
カラリ昭和の同性愛



ぱんこちゃんぽ

ぱんこちゃんぽ

Vol.3

みぎわパン



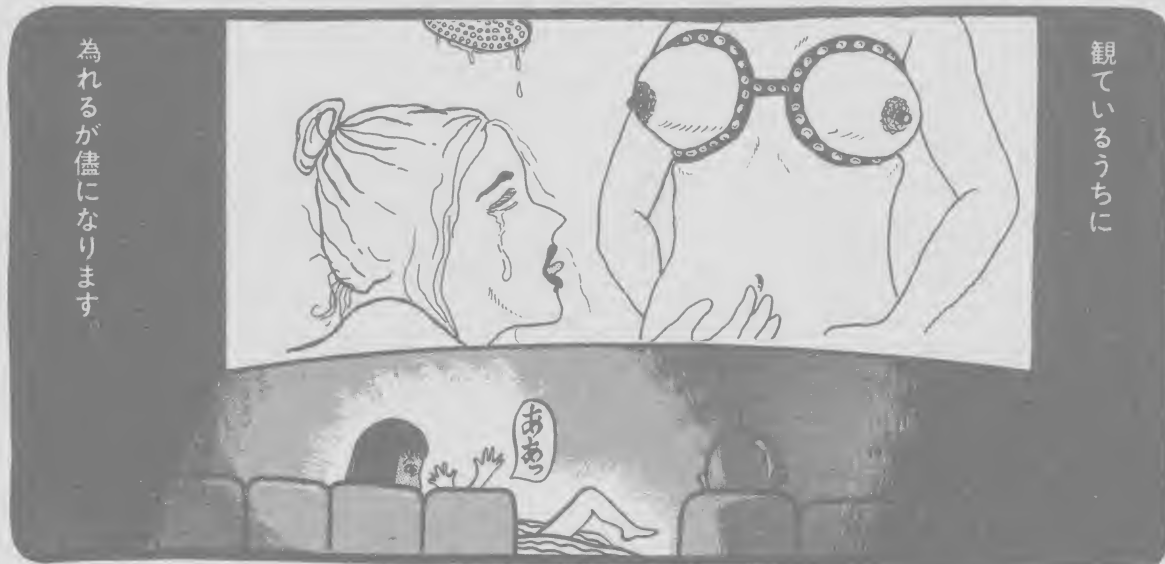
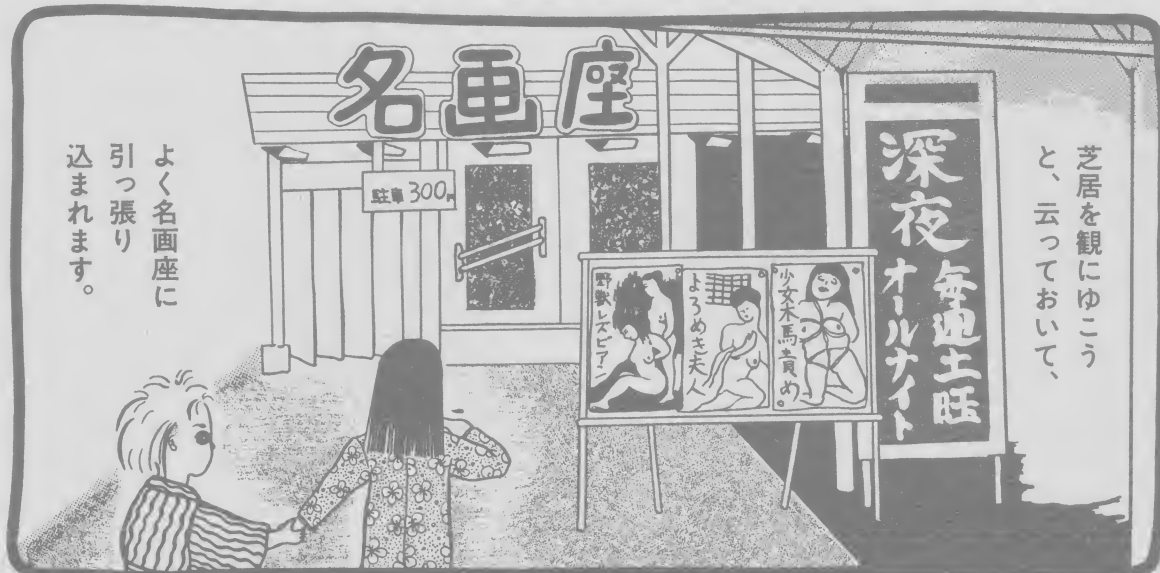
大須にゆけば  
未知依に  
会えるからです。



未知依は  
「大須ハ、インチキ臭イ町ダ」

と云います。







おもちゃも  
使うから  
未知依は  
女の子に  
好かれるのです。



でも未知依は自分の、からだ  
には、ゼツタイに

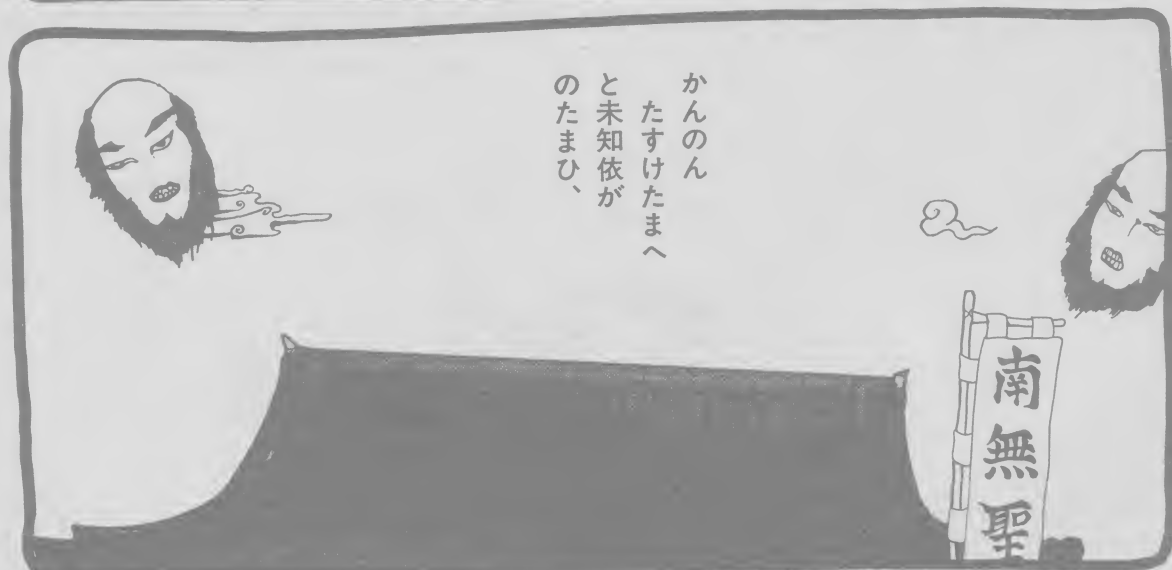
やらせない  
のです。  
先天性不感症  
だそうです、  
どうも

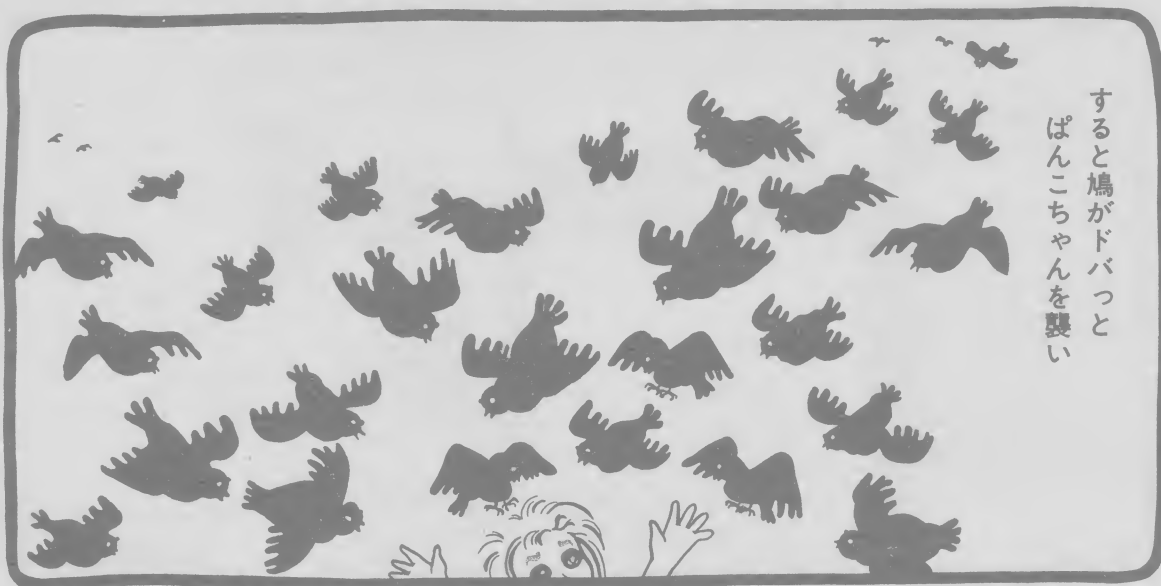
インチキ臭いですね。



大須の観音は、いつも  
見世が出ていて江戸末期の  
町人文化の面影を残していて

好感が  
もてます  
ね。





すると鳩がドバッと  
ばんこちゃんを襲い



たまげて  
ばんこちゃんは  
転がりました。



未知依の弁解に因ると  
実は先天性不感症と云う  
のは嘘で、未知依は  
観音・如来  
などの

霊界人と契りを交したので  
この世の者とは、できない  
のだそう。

観音は女の姿をしている  
由、特に同性愛好の  
未知依は

御ひいきにして  
貰って居るのだ  
そうです。



その夜、  
ばんこちゃん  
は未知依の  
家に  
泊まりました。



再び強姦を  
試みる  
ばんこちゃん



未知依は  
ばんこちゃんを  
拒否したまま、  
一人で悶え  
始めます。



神とSEXしている  
最中なのだ  
そうです。





そして  
ばんこちゃんにも  
霊界人との

結婚を  
勧めます。



暗示に  
罹<sup>か</sup>かりやすい  
ばんこちゃ  
んは、  
早<sup>さうぞく</sup>速、  
十一面観音と  
SEXしま  
した。

あ、  
あ、  
あ、  
あ、



そんな、ばんこちゃんを  
未知依は写真に撮り捲って  
コレクションにしました。

おわり